



はなのき

神坂小学校だより No.10 2022.12.21



心で心をあたためる

校長 高橋 浩之

雪が降る日もあり、冬本番。防寒対策として毎日水道の元栓を閉める日々ですが、教室では感染症対策で換気やロスナイを活用しながら子ども達は元気に学校生活を送っています。そんな毎日ですが、心温まる行事や取組が学校にはあります。

11月28日に「Happy集会」を実施しました。今回の集会では、自分のために多くの人たちが支えてくれている思いに気付き、感謝の気持ちを伝えるとともに、自分の周囲の人に喜んでもらう言動を広めることを目的としました。低学年は、学級や登校班など関わった仲間に対して、「ありがとう」の言葉がたくさんでてきました。中学年では、支えてくれた仲間に対して、自分がどのように感じ、接したかを発表してくれました。高学年では、さらに広がり、調理員の方々や先生方に感謝の気持ちを伝えました。体育館に感謝の言葉が広がり、心が温かくなりました。感謝を伝えるということは、伝える側に優しさと気付きが必要です。また伝えられた側は、心が温まりもっと喜んでもらいたいと気持ちが膨らみます。この集会を通して、感謝の大切さと「ありがとう」がもつ言葉の大きさを感じました。



さらに、12月5日には道徳教育計画訪問がありました。4年生の子が授業を公開しました。「もっと遠くへ」というパラリンピックの選手である谷真海さんの夢についての話でした。漠然と夢をもっていた子ども達ですが、そのために何かをするという思いに立つ子はあまりいませんでした。しかし、学習の中で、5mを越える走り幅跳びの記録を出した谷さんが、それ以上の何かを得ることができたことについて考えると、夢に向かって努力する大切さやあきらめない心など様々な気持ちが子ども達の言葉から出てきました。そこには、確実に夢や目標に向かい頑張ろうと強い意志を抱いた瞬間がありました。その思いに心が温かくなりました。

このように、感謝や強い意志により、心で心を温めてくれる神坂小の子ども達です。現在、年末の取組として大掃除週間を行っています。校舎に対する感謝の思いを込めて、いつも以上に隅々まで掃除をしています。美化委員会からは、毎日少しずつ見えないところや普段できない箇所を掃除していくよう紹介があります。本校はたてわり班での掃除のため、高学年が低学年に対して丁寧に教える姿は、感謝の思いをもち広げるきっかけになります。時間一杯取り組む姿は、粘り強い心の表れです。神坂小学校の校舎をピカピカにして、そして心もピカピカにして新年を迎えます。

年末年始も、継続した感染対策をお願いします！

第8波やインフルエンザ等、喉の痛みや高熱で、体調を崩すことが多く心配がつきません。なかなか落ち着きを見せない状況ですが、行動制限がない年末年始ですので、できる限りの3密回避や手洗い・うがい、手指消毒をお願いします。皆さんが、健康で年末年始を過ごされることを職員一同心から願っています。